

製品名: MAP1LC3B マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81130**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC, ICC, ELISA, FC
反応性	人間、マウス、ラット、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.03%アジ化ナトリウムを含む PBS。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:50-1:100, ICC 1:50-1:100, ELISA 1:5000-1:20000, FC 1:200-1:400
分子量	14.6kDa

抗原情報

遺伝子名	MAP1LC3B
別名	LC3B; ATG8F; MAP1A/1BLC3
遺伝子 ID	81631.0
SwissProt ID	Q9GZQ8
免疫原	大腸菌で発現したヒト MAP1LC3B の精製された組み換え断片。

背景

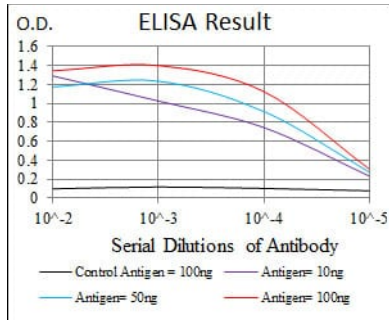
この遺伝子産物は、神経細胞の微小管関連タンパク質 MAP1A および MAP1B のサブユニットであり、微小管の組み立てに関与し、神経新生に重要です。ラットホモログを用いた研究では、この遺伝子が細胞質成分の大量分解を伴うプロセスであるオートファジー

において役割を果たしていることが示唆されています。

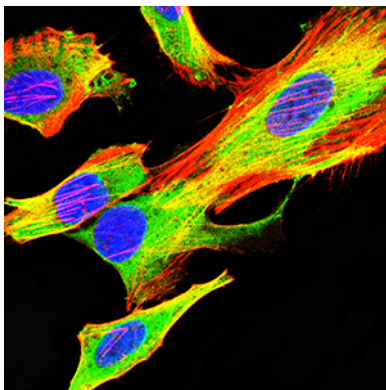
研究分野

オートファジー

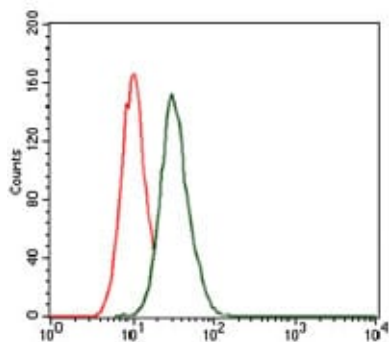
画像データ



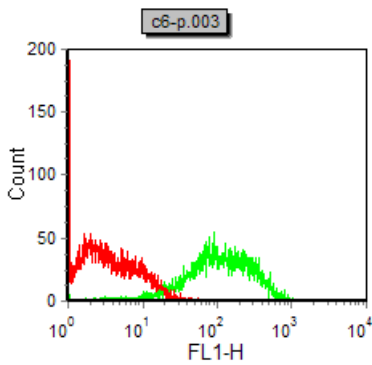
黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



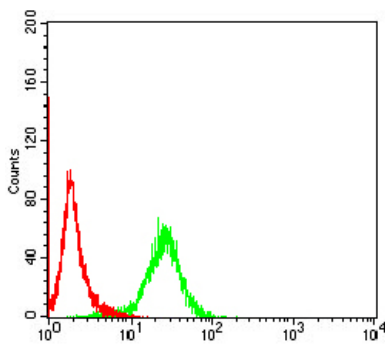
MAP1LC3B マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



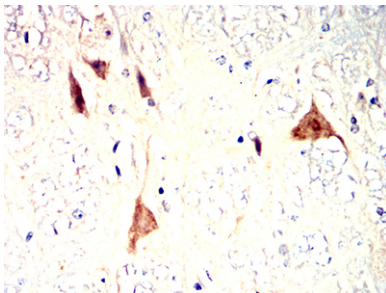
MAP1LC3B マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。



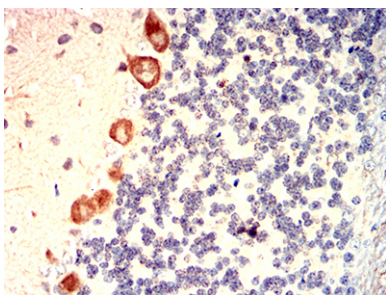
MAP1LC3B マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した C6 細胞のフローサイトメトリー分析。



MAP1LC3B マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した NIH/3T3 細胞のフローサイトメトリー分析。



DAB 染色による MAP1LC3B マウス mAb を使用したパラフィン包埋マウス小脳の免疫組織化学分析。



DAB 染色による MAP1LC3B マウス mAb を使用したパラフィン包埋ラット小脳の免疫組織化学分析。